PART2 宗教

Chapter1　一神教（ユダヤ教・キリスト教・イスラーム）

目標　一神教の成立順を学ぼう。
ユダヤ教とキリスト教・イスラームとの大きな違いを知ろう。

1　ユダヤ教

ユダヤ教（前６世紀～）→ユダヤ人の〔　　　　　〕**宗教**でキリスト教の母胎

①開祖　なし

②聖典『〔　　　　　　　　〕』

③聖地　イスラエルの**エルサレム**「嘆きの壁」

④神　　〔　　　　　　　　〕**→一神教**

⑤教え　**預言者モーセ**の「〔　　　　〕」を根幹とする**律法〔トーラー〕**を遵守する契約をしたユダヤ人〔イスラエル人・ヘブライ人〕のみが，神の遣わした救世主〔メシア〕により「**最後の審判**」で救われる。

※**律法主義**と〔　　　　〕**思想**。

2　キリスト教

エルサレム

キリスト教（１世紀初め～）→世界最大の信者数を誇る**世界宗教**

①開祖　**救世主〔キリスト・メシア〕**〔　　　　　　〕
ゴルゴダの丘における〔　　　　　　〕上の死の３日目に**復活**

②聖典『**旧約聖書**』『〔　　　　　　　　〕』

③聖地　イスラエルの**エルサレム**「聖墳墓教会」

④神　〔　　　　　　　　〕**→一神教**

⑤教え　**神の愛〔アガペー〕**と〔　　　　〕**愛**
イエスの〔　　　　　　〕
「何事でも人々からしてほしいと望むことは，人々にもその通りにしなさい」

⑥宗派〔　　　　　　　　　　〕，**プロテスタント**，**（東方）正教会**

その後

A 〔　　　　　　〕による異邦人伝道→**原始キリスト教**の確立

贖罪思想，信仰義認説，**キリスト教の三元徳（信仰・希望・**〔　　〕）

B ローマ＝カトリック教会の発展→初代ローマ教皇〔法王〕は〔　　　　　　〕

あ　アタナシウス派キリスト教がローマ帝国の国教となる

のち**三位一体説（神・**〔　　　　　　〕**・聖霊**）が確立

い　古代**教父哲学**の〔　　　　　　　　　　　　　　〕→「最大の教父」

う　中世〔　　　　　　〕**哲学**の**トマス＝アクィナス**

3 イスラーム

イスラーム（７世紀前半～）世界第〔　　〕位の信者数を誇る**世界宗教**

①開祖〔　　　　　　　　　　〕→**最大・最後の**〔　　　　　　〕

②聖典『〔　　　　　　　　　　〕』

③聖地　サウジアラビアの〔　　　　　　〕「カーバ神殿」

サウジアラビアの〔　　　　　　　　〕→**聖遷**〔ヒジュラ〕（622 年）

イスラエルの**エルサレム**「岩のドーム」

④神　〔　　　　　　　　〕→一神教

⑤教え　**神への絶対服従**，〔　　　　　　　　〕**の禁止，聖戦〔ジハード〕**

〔　　　　〕**（アッラー・**〔　　　　〕**・聖典・預言者・**〔　　　　〕**・天命）**

〔　　　　〕**（信仰告白・**〔　　　　〕**・断食・喜捨・**〔　　　　〕）

⑥宗派　圧倒的多数派の〔　　　　　　〕**派**と少数派の〔　　　　　　〕**派**

※ムハンマドの死後は継承者である**カリフ**が選ばれ最高指導者となったが，どのような人物を選ぶかという論争から分裂。

その後

『クルアーン』＋ムハンマドの言行録〔ハディース〕をもとにした慣行・行動規範〔スンナ〕からなる**イスラーム法〔シャリーア〕**が９世紀に成立。**宗教と政治・文化が一体化**している。

まとめ　一神教はユダヤ教，キリスト教，イスラームの順に成立した。
ユダヤ教はユダヤ人の民族宗教で，キリスト教とイスラームは世界宗教。

Chapter2　インドの思想と仏教

目標
仏教と他のインド思想との大きな違いを知ろう。
仏教の２派の大きな違いについて理解しよう。

1　仏教以前のインド思想

①〔　　　　　　　　〕**教**→古代アーリヤ人の民族宗教

紀元前1000年頃に司祭者であるバラモンたちが特権を得る

A　ウパニシャッド哲学（紀元前７世紀頃～）

聖典『ヴェーダ』に付属する奥義書『ウパニシャッド』から生まれた哲学

B　**輪廻転生・因果応報**

あらゆるインド思想において輪廻の苦しみから解放されるのが**解脱＝悟り**

C　梵我一如→この理解により解脱できるので**苦行**や**瞑想〔ヨーガ〕**に励む

宇宙の根源にあるブラフマン〔梵〕と自己の本質であるアートマン〔我〕は同一

②〔　　　　　　　　　　〕**教**→９世紀頃にバラモン教から発展したインド人の**民族宗教**

創造神ブラフマー，維持神ヴィシュヌ，**破壊神シヴァ**を三神一体の最高神とする多神教

③〔　　　　　　　　〕**教**（前６世紀前半～）→インド人の民族宗教

六師外道の自由思想家**ヴァルダマーナ〔マハーヴィーラ〕**が開祖

2　仏教の成立とシャカの教え

①**ゴータマ＝シッダッタ〔シャカ〕**（前５世紀半ば～前４世紀初め？）

四門出遊を経て29歳で出家し35歳で悟りを開き〔　　　　　　〕となる

※かつての修行仲間５人に行った最初の説法が**初転法輪**。

②〔　　　　〕の成立→信徒数世界第〔　　〕位の**世界宗教**

一切の衆生は**真理**である**法〔ダルマ〕**の前では平等

※シャカは三毒（貪・瞋・痴）を断ち切ることを説いた。

③**縁起**→すべての存在は縁あって起こる

「〔　　　　　　　　〕」を知らない状態が**無明**

シャカの涅槃図

④〔　　　　　　〕→４つの普遍的真理

〔　　　　　　　　〕・〔　　　　　　　　〕・〔　　　　　　　　〕・**涅槃寂静**

⑤〔　　　　〕→**苦諦**・〔　　　　〕・〔　　　　〕・**道諦**という４段階の真理

※苦諦＝**四苦**（生老病死）と**八苦**（四苦と愛別離苦・怨憎会苦・求不得苦・五蘊盛苦）。

※集諦＝我執などの**煩悩**

⑥〔　　　　　　　〕→極端を避けた（＝**中道**）８つの正しい修行方法

正見・正思・正語・正業・正命・正精進・正念・正定

⑦四大聖地→ネパールのルンビニー，インドの**ブッダガヤー**・サールナート・クシナガラ

3　上座部仏教と大乗仏教

①原始仏教→『法句教〔ダンマパダ〕』『スッタニパータ』は現存最古の経典

A　**自利**と**利他**

B　在家信者には戒律のうち五戒のみが課された

　※**仏・法・僧**を〔　　　　　〕として敬いつつ日常生活を送ることが説かれた。

②部派仏教（前３世紀頃）→上座部と大衆部に分かれた後さらに分裂し約 20 ある

③**上座部仏教〔南伝仏教〕**→自己の悟りが第一

理想は最高の修行者である〔　　　　　　〕

④〔　　　　　　　　　〕**〔北伝仏教〕**→全ての生き物の救済が第一

理想は他者をいつくしみあわれむ〔　　　　　〕の心が強い**菩薩**

A〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

　→すべての生き物はブッダとなる可能性を備えている

B〔　　　　　　　　　〕→出家者が実践すべき６つの徳目

　布施・持戒・忍辱・精進・禅定・智慧

C　中観派→２～３世紀にインドで発生

　ナーガールジュナ〔竜樹〕により**空**の思想として理論化

D　唯識派→４～５世紀にインドで発生

　アサンガ〔無著〕・ヴァスバンドゥ〔世親〕兄弟により唯識思想が説かれる

E　チベット仏教〔ラマ教〕（７世紀）

　インド・中国で大乗仏教の教理が完成しチベットさらにモンゴルにまで伝わる

F　大乗仏教は中国から朝鮮半島の〔　　　　　〕を経て日本にも伝わる

まとめ　インド思想のうち，仏教だけが世界宗教へと発展した。
上座部仏教は自利的，大乗仏教は利他的という違いがある。

第 2 講　PART2　確認問題

1 古代イスラエル人の指導者で，神の言葉を伝えた預言者はだれか。

① パウロ　② アッラー
③ ヤハウェ　④ モーセ

2 キリスト教における神の愛のことを何というか。

① アガペー　② ヒジュラ
③ トーラー　④ シャリーア

3 イエスの教えを伝道した使徒であり，のちに初代ローマ教皇〔法王〕となった人物はだれか。

① ペテロ　② アウグスティヌス
③ トマス＝アクィナス　④ パウロ

4 イスラームの五行のうち，弱者救済のため，財産に応じて課せられた税を支払うことを何というか。

① 断食　② 巡礼
③ 喜捨　④ 礼拝

5 ムハンマドの死後に選ばれた後継者を何というか。

① スンナ　② カリフ
③ ヒジュラ　④ ハディース

6 古代アーリヤ人の民族宗教は何か。

① ユダヤ教　② ジャイナ教
③ ヒンドゥー教　④ バラモン教

7 仏教の四法印のうちで，苦悩から脱して，心静かな平安の境地に入ることができるという真理は何か。

① 諸行無常　② 涅槃寂静
③ 諸法無我　④ 一切皆苦

8 仏教の四諦のうち，四苦と八苦からなるものは何か。

① 苦諦　② 道諦
③ 滅諦　④ 集諦

9 南伝仏教ともいわれる仏教はどれか。

① 上座部仏教　② 大乗仏教
③ 原始仏教　④ 部派仏教

10 空の思想として大乗仏教を理論化した人物はだれか。

① アサンガ　② ナーガールジュナ
③ ヴァルダマーナ　④ ヴァスバンドゥ

第２講　PART2　確認問題 解答

1 解答：④

ユダヤ教では，預言者モーセの十戒を根幹とする律法〔トーラー〕を遵守する契約をしたユダヤ人〔イスラエル人・ヘブライ人〕のみが救われるとしている。

①：キリスト教の教義を発展させ，異邦人への伝道に活躍した人物。
②：イスラームにおける唯一神。
③：ユダヤ教・キリスト教における唯一神。

2 解答：①

神の愛〔アガペー〕は，神が人間に与える無差別・無償の愛である。

②：イスラームにおける聖遷のこと。
③：ユダヤ教における律法のこと。
④：イスラーム法のこと。

3 解答：①

ペテロは，キリスト教設立の中心となり，「第一の使徒」といわれた。

②：「最大の教父」とも呼ばれる，古代教父哲学の代表的思想家。
③：中世スコラ哲学の代表的思想家。
④：異邦人への伝道を行い，原始キリスト教を確立させた人物。

4 解答：③

五行はイスラームの行為上の義務で，信仰告白，礼拝，断食，喜捨，巡礼からなる。

①：イスラーム暦の第９月に毎日，日の出から日没まで飲食を断つこと。
②：聖地メッカに参ること。
④：１日５回，聖地メッカの方向に向かって祈ること。

5 解答：②　カリフはイスラームの最高指導者となった。

①：『クルアーン』＋ムハンマドの言行録〔ハディース〕をもとにした慣行・行動規範のこと。
③：622 年に起こった聖遷のこと。
④：ムハンマドの言行録のこと。

6 解答：④　聖典『ヴェーダ』に付属する奥義書『ウパニシャッド』から生まれた，バラモン教の哲学をウパニシャッド哲学という。

①：ユダヤ人の民族宗教。
②：インド人の民族宗教。
③：バラモン教から発展したインド人の民族宗教。

7 解答：②　涅槃寂静は悟りの境地のことである。

①：この世のすべては，変化して止まることはないという真理。
③：この世のすべてのものには，永遠不変の実体はないという真理。
④：この世のすべては，苦しみにほかならないという真理。

8 解答：①　苦諦とは人生は苦しみにほかならないという真理で，四苦は生老病死，八苦は四苦と愛別離苦・怨憎会苦・求不得苦・五蘊盛苦をさす。

②：涅槃に至るには方法があるという真理。
③：煩悩の火が消えたところに平安の境地である涅槃があるという真理。
④：苦の原因は煩悩の集積にあるという真理。

9 **解答：①**

上座部仏教では，最高の修行者である阿羅漢を理想とする。

②：北伝仏教ともいわれ，慈悲の心が強い菩薩を理想とする。
③：仏・法・僧を三宝として敬いつつ日常生活を送ることが説かれた。
④：ブッダ〔仏陀〕の死後，上座部と大衆部に分かれた。

10 **解答：②**

ナーガールジュナ〔竜樹〕の思想から，中観派という大乗仏教の学派が生まれた。

①：無著とも呼ばれ，大乗仏教の唯識派を形成した人物。
③：ジャイナ教を開いた，六師外道の自由思想家。
④：世親とも呼ばれ，アサンガとともに大乗仏教の唯識派を形成した人物。